

キーワードを入力 | Q

マイページ

購入履歴



トップ | 速報 | ライブ | 個人 | オリジナル | みんなの意見 | ランキング | 有料

新着記事 | オーサー一覧 | コメンテーター一覧

米大手新聞、気候変動懐疑論は「事実誤認」と懐疑派からの投書掲載を廃止

田中めぐみ | 米環境・社会問題研究者
2013/10/20(日) 0:16



購読数全米第4位の新聞、ロサンゼルス・タイムズ紙が、気候変動懐疑派からの投稿を今後掲載しないことを発表しました。

アメリカでは、気候変動を認めるか否かは政治的な問題でもあり、民主党寄りのリベラル派は概ね気候変動容認派、共和党寄りの保守派は概ね気候変動懐疑派、という図式ができあがっています。ロサンゼルス・タイムズ紙はリベラルですから、もともと容認派ですが、メディアとしての中立性を保つべく、これまでは懐疑派の読者からの投稿も掲載していました。

しかし、新聞の投稿欄やサイトのコメント欄を利用して懐疑論を広めようとする動きもあり(ICSC)、その影響を心配する声も上がっていました。

LAタイムズは、先月発表されたIPCC(気候変動に関する政府間パネル)の第5次報告書で、「温暖化の主要因が人間活動である可能性が“極めて高い(95~100%)”と発表されたことを受け、「気候変動の原因が人間だという証拠はない、というような事実に基づかない投稿は掲載しません。」(LAタイムズ10月5日)と発表しました。

思わぬところから騒動に発展

実はこの発表は、気候変動とは関係のない、米政府機関の閉鎖について論じた記事の中で、“事実とは異なる投書”の例として使われた文言でした。しかし、この一文がブログに取り上げられ、波紋を呼ぶ結果に。



トピックス (主要)

- 台風11号 西日本で災害級大雨恐れ
- 離婚後親権の試案先送り 自民反発
- 国の1/3冠水 パキスタン人ぼう然 ▶
- 日本ロジステックが民事再生
- おかしいな 詐欺を確信した13歳 ▶
- 不登校新聞「悩むなら読んで」
- GUCCI パロディに異議申立も失敗
- 蛭子能収 認知症で前衛的な画風に

個人アクセスランキング

- 人気のハラミは肉じゃない？ 今さら聞けない焼肉の秘密
山路力也 8/29(月) 15:09
- 人件費を減らせて儲かるから？ ホテルが朝食でbuffet・バイキングを行う本当の理由
東龍 8/28(日) 16:33
- 台風11号は顕著に発達し沖縄近海へ、かなり気がかりな海水温の高さ
杉江勇次 8/29(月) 10:29
- 上海でローリータファッションをする50代の中年女性がSNSで賞賛されている、ある理由
中島恵 8/28(日) 14:22
- 夏休みの自由研究におススメ！ 『走れメロス』の友情の走りを科学的に考えると……!?
柳田理科雄 8/29(月) 9:00

この騒動に対し、同紙の投稿欄編集者ポール・ソーントン氏は、3日後に改めてこの件に関する記事を掲載しました(以下、[LAタイムズ10月8日](#)より翻訳転載)。

「気候変動に関する投稿の中には、地球温暖化を否定する人からのものがたくさんあります。“否定”することにより、“気候変動はリベラル派が企てた個人の自由を奪う策略であり作り話だと言っている人が多い”ということを伝えたいのでしょう。」

「気候変動に関する数百の投書の中からどれを掲載するかを決める際、判断基準とすべきは、(私自身の見解ではなく)退屈な調査と厳格な査読という任務を引き受けてくれている科学者の意見でしょう。」

「先月、世界最高峰の気候科学者らで構成される“気候変動に関する政府間パネル(IPCC)”は、地球温暖化を加速させているのが、化石燃料を燃焼し続けている人類である可能性は95%だと発表しました。今議論すべきは、その証拠があるかどうかではなく(明らかにあるのですが)、この事実が私たちにとってどんな意味があるかということでしょう。私は投書欄から事実の誤認を排除することに全力を尽くし、もし掲載されてしまった場合は、“気候変動の原因が人間である証拠はない”という表現は意見ではなく事実誤認、と訂正文を掲載します。」

国内・海外メディアの反応は？

これに対し、保守派のテレビ局フォックスは、検閲に当たるのでは、とウェブ上で批判([FOX](#))。

一方、リベラル寄りのテレビ局CBSは、投書を掲載しないだけでは甘いともいわんばかりに、懐疑派による主張を排除するためにコメント欄を削除した科学系サイトや、悪いコメントは良いコメントより注意を引きやすいとする研究者の意見などを紹介([CBS](#))。

これに乗じて、他紙も同じ方針に変更するよう署名活動を行う非営利団体も出現しています([Forecast and fact](#))。

そして、この影響は海外にも波及しました。

英ガーディアン紙オーストラリア版は、“掲載する事実がすべて証拠に基づいていなければならないとするならば、LAタイムズの方針は正しいが、地域の読者の信念を掲載するのが投書欄の役割であるならば、証拠のない見解を載せても問題はないだろう”、とあくまで中立的な論調で自社の立場を明らかにせず、代わりに、“豪シドニー・モーニング・ヘラルドは今後この件に関する声明を発表するらしい”、と報じています([Gardian](#))。

メディアとして中立的な立場を守ることは大切ですし、LAタイムズの決断により、価値ある反対意見を封じ込めてしまう可能性も否めませんが、地球環境の保全は人類全体が協力して対処しなければならないことですし、他メディアや読者に考える機会を与えたという点でも、同社の発表は意義あることだと思います。

もちろん、科学が万能であるわけでも、多数派が常に正しいわけでもありませんから、もし人為による気候変動を疑う科学者がいるのなら、IPCCと対等な質と量の論拠を示すことで、改めて議論の価値が認められるのではないのでしょうか。

ソーントン氏が言うように、私たちが今すべきは、温暖化が本当か嘘かと面白おかしく騒ぎ立てることではなく、起こっている現象に対して私たち人類がどう対処し、子孫が安心



↑ ページ上部へ戻る

して住むことのできる環境を残すかを検討することなのでしょう。一連の報道から、このことが世界に向けて広く伝わるよう願っています。



田中めぐみ
米環境・社会問題研究者

米ニューヨーク在住、米環境・ソーシャルビジネス・政策の研究・コンサルタント。ハーバード大学エグゼクティブエデュケーション サステナビリティリーダーシップ修了。慶應義塾大学商学部卒業後、経営コンサルティング会社アクセンチュア勤務を経て渡米。ニューヨーク州立ファッション工科大学卒業後、02年米国にて起業。当初米小売・ファッション市場の調査・コンサルティングを行うが、社会課題解決の必要性に目覚め、以来持続可能な社会の実現に向けて取り組む。著書『サステイナブルシティ ニューヨーク』『グリーンファッション入門』(織研新聞社)、共著書『エコデザイン』(東京大学出版会)、訳書『ターゲット』(商業界)。

田中めぐみの最近の記事

もっと見る



アメリカで需要急増中の「代替肉」、肉市場を席捲するか
2020/9/11(金) 9:00



新型コロナ感染拡大、米ニューヨークで何が起きているのか
2020/3/30(月) 9:02



米国で電子タバコによる死者急増、背後に潜む様々な社会問題
2019/11/15(金) 9:00



懸念されるアパレル労働者の安全性、欧米企業によるバングラデ…
2018/12/26(水) 12:00

あなたにおすすめの記事



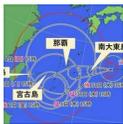
iPhoneにバッテリー残量表示機能が帰ってくる？ iOS 16ベータ版で復活が確認される
篠原修司 8/30(火) 21:31



ウクライナ空軍がMiG-29戦闘機によるAGM-88対レーダーミサイルの使用映像を公開
JSF 8/30(火) 20:59



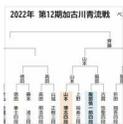
中国人経営者が稲盛和夫氏を尊敬する理由 著書は書店に平積み、ベストセラーに
中島恵 8/30(火) 20:12



西進台風11号沖縄へ 大東島では住宅倒壊のおそれも
崎濱綾子 8/30(火) 20:02



この2日間で正念場の筒香嘉智——菊地慶剛のスポーツメディア・リテラシー vol.128——
菊地慶剛 8/30(火) 16:59



忍者・服部慎一郎四段(23) 公式戦連勝は19でストップ! 加古川清流戦で山本博志四段(26)に敗れる
松本博文 8/30(火) 18:45

